

対カンボジア無償資金協力 第三次プノンペン都洪水防御・排水改善計画の起工式開催

3月26日（月）、我が国の無償資金協力により実施されるプノンペン都における第三次洪水防御・排水改善計画の起工式が、プノンペン都で開催されました。右式典にはカンボジア政府からマエン・サムアーン副首相他、日本大使館からは黒木大使が出席して祝辞を述べ、またカエップ・チュ・テマー・プノンペン知事を始めとするカンボジア政府関係者や、地域住民を含め3000人以上が参列しました。このプロジェクトは、プノンペン都南東部における8地区の排水設備の改善を行うため、我が国が37億円の無償資金を供与するものです。

式典では、冒頭、プノンペン都知事が日本の支援に対する謝辞を述べました。知事に続いて黒木大使は、「プノンペン市は毎年雨期になると洪水による浸水や汚水の停滞による危機に直面している。右状況は生活環境の悪化や、浸水による交通渋滞の発生、都市機能の混乱を招く要因になっているため、2002年および2007年に無償資金協力で実施されたフェーズ1および2に引き続き、洪水危険地区の排水設備の改善を行うこととした。今回は、プノンペン都南東部における8地区の排水設備の改善を行うもので、プロジェクト対象地域におけるプノンペン都民の生活環境改善や、プノンペン都の経済・社会活動の向上に貢献するものである。」と述べました。また、「都民の皆さんに、建設中の不便についてご理解いただくとともに、工事に対する協力をお願いしたい。この計画により洪水から解放されることで、プノンペン都はさらなる発展と繁栄を享受するだろう。また、プノンペン都への投資及び観光客の誘致にもつながるであろう。」と述べました。最後にマエン・サムアーン副首相は、カンボジアに対する日本政府及び日本国民の支援について感謝の意を示すとともに、プノンペンの街を、無秩序なゴミの投棄によって美観を損ねたり、下水設備の稼働を妨げることによって、氾濫や汚染させることのないよう、参列者に呼びかけました。

その後、マエン・サムアーン副首相と黒木大使が、施工機械のスイッチを押し、施工機械の初起動を確認し、式典は終了しました。



起工式会場概況



黒木大使スピーチ



マエン・サムアーン副首相スピーチ



起動ボタンを押す大使と副首相



施工機械起動状況